

ク ルマに関しては、どちらかというところ「運転」が好きです。昔からハリーレーに乗っていて、旧車のバイク特有のトラブルも引くくためて趣味としてハマっています。だけどクルマは反対で、実用性を求めています。だから、新しく快適な方が好きです。ね。スノーボードやクレイ射撃、ゴルフなどの趣味を楽しむため、クルマが好き。そんなワケで、これまでSUUV系に乗り継いで来ました。ユーコンに乗っていたこともありまよ。

自分が歌を始めた頃は、向こうのミュージックビデオでエスカレードにカッコいいホイールを履かせているのを見て、やっぱり自分もいつか乗りたいなあ、という憧れがありました。それでユーコンを買って、次にエスカレードに……。でも、頻りにゴルフへ行こうになったので、ハイブリッドという選択になって、今はレクサスRXに乗っています。

自分が作っている音楽も、作っている途中の音楽を確認したりするのも、クルマで走っている時に考える事が多いです。クルマの中が一番音楽を聞くスペースになっています。広い車内で大きな音で音楽を聞くのが好き。だからアメリカンSUUVは大好きです。音楽が好きでやっていた人は、やっぱりいいけど、憧れのアーティストのクルマやファッション、そしてライフスタイルなどを見て、そこに近付くように頑張っていたりする。だから、クルマは特に重要なアイテムですね。男だから頑張っている、ちよっと背伸びしたクルマを買って、それが大事なことだと思っ。

デビューしてすぐのお金がない頃、その時の自分なりにちよっと背伸びしたクルマを買ってました。ある大人の方に「そういうクルマを買って乗るんだよ。乗って自分をそのレベルに持って行くんだ」と言われ、それを聞いて、なるほどなあって思いましたね。凄く男的な考え方になるけど、背伸びして乗る事で自分のレベルを高めていく……。まあ、それだけじゃ偉くはないけど、そこに合うように自分を頑張らして持っていく。いずれ、それがキープできなくなると手放したとしても、あの時アレに乗ったなあって自分の歴史になるワケです。乗った事がないのに、そんなのいないでしょ、というのは違うなあって。だから、クルマは男のロマンというか……。男にとって大事なものだね。

クルマをカスタムすることは、自分らしさを表現するものだと思う。歌もそうだけど、最初は憧れやモノマネから始まって、それを吸収してオリジナリティになる。クルマも同じで、そこで自分らしさを出すため、カスタムはいいことだと思う。だけど、ただ流行に踊らされて、コレをやれば間違いないよってワケじゃない。だから自分の用途に合わせてカスタムする方がいいと思うんだよね。自分は何をチョイスして、何が譲れないのか。それが自分の色になる。自分はフルカスタムよりは、ライトカスタム派ですね。だから、今回のCTSは凄いい好み

だし、素直に良かったと思う。ユーコンのエンジンは5気缸であつたけど、このCTSは2気缸だけど、ターボが付いていてニユルで走り込まれたって話を聞いて、実際に乗ったら凄くイイ。街乗りもしたし、ゴルフにも行って来ました。トランクに、ゴルフバッグ2つが余裕で入ったんですよ。自分は体が大きいので、シートもサイズも気になっていたので、全然広くて快適。乗り心地も良くて、走りもイイ。どこへでも行ける感じがしました。

ずっと目標の高級クルマに乗って来たので、久し振りに低いクルマに乗ると、走ることに楽しさが倍増する感じがして、次に乗るクルマはセダンもいいなあ、みたいな。本当に乗っていてイイ気分させてくれるクルマでした。

湘南乃風 6th Album  
2015.5.27 Release

初回限定版 2CD+DVD  
¥4,500+TAX  
通常版 2CD  
¥3,500+TAX



およそ2年振りとなる通算6枚目のオリジナルアルバムがついに完成。5月27日発売が決定した。今作には、2014年8月にリリースした「バブル」(テレビ朝日系本編ドラマ「ゼロの罠」の音楽監修・松本真央〜主題歌)や、2015年3月14日にリリースの「バブル」(PS4/PS3)「誰か知く0 舞いの場所」(テーマソング)、「Z〜俺等の逆襲〜」(映画「Zアイランド」主題歌)などを含む全17曲を収録したCD2枚組。今作のアルバムを引っさげ、6月27日から湘南乃風史上最大規模となる全国ツアー「風伝説」第二章「一歩市野郎」(ポロポロ一番星 TOUR 2015〜)がスタート。

風伝説 第二章  
一歩市野郎 ポロポロ一番星 TOUR 2015

- 6/27(土) Zepp Sapporo
- 6/28(日) Zepp Sapporo
- 7/04(土) 松山市民会館 大ホール
- 7/09(日) 高知県立文化ホール オレンジホール
- 7/11(土) 豊後市民会館
- 7/12(日) 電子コンベンションセンター 自由座
- 7/17(金) 名古屋 日本ガイシホール
- 7/18(土) 名古屋 日本ガイシホール
- 7/25(土) 大塚ホール
- 7/26(日) 大塚ホール
- 8/01(土) アリソン・セシール
- 8/02(日) アリソン・セシール
- 8/09(土) 福井フェニックス・プラザ
- 8/14(日) ホクト文化ホール(長野県草野市民会館)大ホール
- 8/15(土) 横浜アリーナ
- 8/16(日) 横浜アリーナ

「やっぱりクルマは男のロマンだね。」



RED RICE possible  
言わずと知れた人気ロックグループ「湘南乃風」のリーダーを務めるRED RICE(レッドライス)。王道のラフ声で多くのファンを虜にし、シリアスとユーモアを併せ持つ独自のスタンスはクールに色濃く投影。さらにテレビドラマで俳優として活動するなど、マルチな才能を開花させている。

キャデラック・シボレー国立  
**CADILLAC CTS**  
with Giovanna Wheels  
**RED RICE** 湘南乃風

業界内でも無類のアメリカ車好きで知られる「湘南乃風」のレッドライス。いつかはエスカレード……と、憧れを抱いていた時期もあるという氏に、キャデラックCTSを試乗して頂き、率直な感想と彼のクルマ観について語ってもらった。

Photo Masato Hayashi Text Tomomi Hibino  
取材協力:キャデラック・シボレー国立 ☎042-575-2526 www.stg-inc.jp  
Special Thanks: BROTHERHOOD ☎029-305-9755 www.brother-hood.com



2015年型CTSに搭載されたのは、Giovannaホイールの象徴的かつ定番デザイン「DALAR-5」。マットブラック/マニードフェイスでボディカラーとマッチングさせており、サイズは22インチ。タイヤは245/30サイズ。



2014年型CTSには、Giovannaホイールの革新的なブランドとなるKOKO KUTURE「MASSA-5」のマットブラックをセット。日常使用でもストレスなく乗れる程よいサイズ感の20インチに留めている。